

Narromine News 2013

WinterSession

Shinzo in Japan

ゴーリーレポート

Australian National Report

Happy New Year

Narenkai Report

9月10日

Naokiです。Day10、Dya4のレポートを送ります。



本日は、朝から15ノット程度の風が吹き、Cross Wind気味のRunwayとなり、如何にフライトの準備が重要かを皆学んだことと思います。
本日は、フライト時間0秒のフライトがありました。このフライトの意味の重要性は、ここにいる8名の学生は十分に理解しています。ここでの披露はいたしません、パイロットとは何か、フライトとは何かを、ひとつずつ学び、一步ずつ、一人前のパイロットに近づいています。
ほぼ初めての集団生活かと思ひます。この中での自己責任、協調性を学びつつあります。本日より、トイレ紙が各人一巻きずつ配布され、紙の自己管理を始めました。身近なことですが、これからの成果を期待してください。

また、9/6より、同志社大学OBのKENが、Instructor Trainingとして、我々をサポートしてくれています。時に、Grand Staff、時に、地上でのInstruction、時に生活面でのお兄さんとして、24歳とは思えない、活躍をしてもらっています。九工大、久住との良い関係、同志社との関係も気づけそうです。やはり、ここNarromineを中心に、人の輪が広がっています。

今日は、3人からコメントを出してもらいます。下記、どうぞお楽しみください。写真は、九工大のYumaとAkiの頑張ってる姿と、本日の空と夕食、そして、Yukiの掃除風景です。



KEN

同志社OB二年目でナロマインでシンゾーさんにお世話になってます。今回、アシスタントインストラクターの練習を始めさせていただきました。学生と世代がとても近いので若者の気持ちが分かり、また飛行機酔いしやすいので、学生と話しながら解決策を探していけるキャラクターが持ち味だと思います。明日以降も、シンゾーさんの喉を枯らすほどお世話になります。

Hawk

一昨日振りの登場、靱井(もみい)です。今日はDay4。ようやくグライダーのことに集中できるようになってきました。

予定では一時間超のフライトを計画していましたが、結局12分と、昨日より短いフライトになってしまいました(またdown windに入ってからサーマルに入るという…)。しかし、今までとは違った気象条件を活かしたフライトができ、収穫は昨日以上でした。今日は信三さんから木刀を借りました。明日からは毎朝素振りをします。この効果がフライトにそのうち出てくる予定なので、今後のdaily reportにご期待ください。自己主張！

Yuki

昨日もデイリーレポートを書きました赤堀です。ここでは生活面について書いていきたいです。今日は曳航機の掃除の出来具合から掃除が好きなんだねと言われ、車の中も掃除してくれと頼まれて掃除をしました。その間ずっと写真を撮られ続けて最初はちょっとうるさいなと思いましたが、あとになっていくともう写真撮られてもいいやという気分になってもう掃除に集中しました。こうして書いてみるとやっぱり掃

除は好きなんだなと思ってしまいます。これからいろいろな仕事が出てくると思いますが責任もってやり遂げたいです

9月11日

Naokiです。Day11、Day5のレポートを送ります。
 本日は、明日より始まるエアショーのため、外から飛行機がいっぱい飛来してきました。そんな中、サーキットのトレーニング、滞空してエアワークと、順調に本日のタスクを、こなしています。
 今日の写真は、なんと、Narrromineに来て、花粉症に近い症状にやられてる人達です。



ここにいると、そんな症状も多分治るでしょう。
 また、生まれて初めて、サンドイッチを作れた写真です。



小さなことに、大きな成長の礎を感じさせる一コマです。
 明日は、恒例(?)の早朝フライトを行います。
 毎日、11:00過ぎのフライト開始を、明日は、08:00開始として、朝から動きます。もう既に、明日の朝食、昼食の準備も終了し、皆就寝しています。(まだ10:00ですが。)
 昨日から、何々と思う、何々をしたいと思う的な発言は禁止となっております。何々をやる、という言葉に変えさせて、自己主張のトレーニングをしています。一人前のパイロットになるための、重要なステップです。
 すみません！本日は皆就寝済みですので、個々のレポートはありませんが、添付の写真をお楽しみください。各日に、皆遅くなってきています！
 明日は、皆のレポートを送ります。

9月12日



本日は、早朝フライトを行いました。07:45 First Take Off。
 静穏な中、First Soloを目指して、YumaがTake Off。Landing後、
 「どうだ？ Soloで行くか？」
 「Soloで行きます！」

FIRST SOLO

その後、Akiのフライト。単独飛行には至りませんでした。DualとはいえSolo Flightと同じフライトでした。もう、一人で判断して飛べるようになっていました。Yuma、Akiは本日で、フライトが終了しました。どこの大学の1年生より、Self ManagementのできるPilotに育ちました。

NarromineのSololは、公共飛行場でのSoloです。技量だけで出られるSoloではありません。社会性、判断力、自己管理ができて初めて実現するものです。

12日間で、二人とも、Soloに出れるPilotに育ちあがりました。

理科大、東工大、埼玉大の6人に大変良い刺激をもらい、全員が、一人前のPilotに向かって成長しています。

それでは、二人の話をお楽しみください。



Yuma

はい、昨日ダミーブレイク終わったので今日初ソロ行ってきました。出してもらったのではなく、自分で出ると決めた初ソロでした。ATが始まると後ろに乗っていないことが実感できました。そして早朝だったため、空気も静かで、小窓を閉めて一人の世界に

入って叫んだりしてました。This is my flight ! This is my plane!と(笑)一人にやにやが止まらなかった初ソロでした。今日の印象はこれが一番強かったです。それでは、Aki

とても中身の濃い12日間でした。初めは右も左も空の飛び方もわからないひな鳥でしたが、今では、飛んで自分の巣に帰ってこれるぐらいには、なれたと思います。このナロマインでは、たくさんのことを学びました。まず一番に、外を見る、音を聞く、感じる、グライダーを飛ばす上でこのことが何よりも大事なことを学びました。それ以外にも、メンタルをいかにリラックスさせるかということがいかに重要かということを知りました。緊張しては自分の能力が25パーセントも出せません。そのために、キーワード「スマイル」を意識して飛ぶなどのキーワードを決めるという工夫などもしました。ほかに、生活をしている上でも常に先読みを意識、あたりまえのことを当たり前にする、与えられた責任と権利を全うするなどグライダーだけでなく、全てにおいて大切なことをたくさん知ることができました。他にもここでは言い尽くせないことが沢山あります。この経験を、仲間や次の世代に伝えていきたいと思っています。

9月13日

本日は、NarromineでAirshow開催のため、通常とは変わったタスクとなっております。フライトは朝起きてから寝るまでがフライトと教えています。(もしかしたら寝ている間も)よって、Airshowがあっても、空に上がれないだけで、本日は、Day13、Day7です。

本日の朝、Aki、Yumaが、バス/電車でSydneyに向かいました。

本日のDay7のタスクは、しっかりRelaxすること、Narromineの町、Airportにて、社会性の勉強をすることです。

午前中の今は、WeatherのBriefingを行っています。(外に出かける前のお天気チェックを発展させ、Weatherの理解まで広げて、お天気チェックしています。)Day13までの成果の一つに、九工大と理科大、東工大というグループにて、上下、左右の既存のOrganizationを超えた、グライダーパイロットとしての絆、交流が始まったことを報告します。今回は、1年生と2年生が参加しておりますが、ここでは、その概念は全くありません。一人のグライダーパイロットが集まっただけです。

そんな中、この交流を今後も続けたいと、自然とテーマが設定され、Shinzoさん、Makiさん、私で具体的なことを意見交換しました。下記の案について、みなさまのご意見をお聞かせください。

理科大・東工大 ⇒ 久住の山で、ウインチ、山岳滑翔、を通して、空を読む勉強をしたい。フライトの後、温泉につかりたい。

NPO九州 ⇒ 関東平野で、飛行機曳航にてThermalを勉強したい。

ならば、Narromineで始まっている交流を、日本まで持ち込み、輪を広げ、各団体の活動の活性化ができると考えました。

具体的な提案として、

1. 3月の全国大会の後、関宿にて理科大東工大飛行機曳航合宿に合流する。担当:理科大監督 岩楯 場所:関宿滑空場+宿舎 期間:2~3日間
2. 10月か11月のNPO合宿に合流する。担当:NPO九州 牧田 場所:久住滑空場+温泉 期間:NPO合宿に従う(2~3日間)

参加者:学生、OBを問わず、希望者 開始時期:2014年より

私としては、この交流を先ず希望者にて始め、両団体の年間計画に組み入れられる定例の交流会に育て上げたいと考えております。

9月14日

本日も、Narromine Air Showのため、空に上がりません。その代わりに、庭で、Runway22を作り、サーキットレーニングを、私、Kenを含めて、Kengo、Hawk、Keitが、何度も飛びました。

お昼を食べた後、サーキットレーニングを行っている3人から、飛ぶことの情熱を引き出しました。Shin、Ken、Yukilは、素直に体でいろいろなことを感じています。これは、何も無い状態でNarromineに来た強みとなっています。

この二日間のRelax Timeが、明日からのフライトに繋がることと思います。

まだまだ、Self managementってなんなんだろの域ですが、間もなく、大きく成長する時期に差し掛かっています。

明日からのReportでは、メールを見て、Narromineに居るように感じてもらえる内容になります。乞うご期待ください。

本日は、Day-8を終えて、おもしろかったこと、感じたことを皆にReportしてもらいます。

Hawk

いつの間にかDay8になってました。時がたつのは早いものですね。前半を終えて「一人前のpilotになる」ということが少しわかりました。

昨日今日のoffは普段できない買い物やairshowを楽しみつつ、gliderのことを考える日々を過ごしました。明日からはfirst solo flightに向けて、powerを発揮していきます。

Kengo

ナロマインに来て早くも一週間が経ちました。ただグライダーに乗って飛ぶだけではなく、庭で声を出したり、指を使いながら練習もしています。帰国した時に、「自分はこの合宿で一人前のパイロットになれた！」と言えるようにしたいです。Keit

昨日と今日は滑走路がエアショーのために使用不可だったので、フライトなしのオフでした。ナロマインのスーパーやエアショーを見て、外国であるということを再認識し、楽しむことができました。一番おもしろかったのは500mLより1.5Lの飲料が安いということを知って、環境に考慮した税の掛け方のかな？と思ったことです。明日からまたフライトが再開しますが、いい気分転換とリフレッシュができたと思います。

Yuki

今日までの1週間までで色々な経験をしました。Day6,Day7の2日連続で5000フィート越えのフライトがありました。その時にかなり上空で飛んでいるという感覚っていうのはこんな感じなんだと素直に思いました。昨日と今日はフライトなしの日でしたのでAirShowを見たり、ナロマインの町を散策したりしました。信号機が全くと言っていいほどないのがやっぱり外国に来たんだなと思いました。Shin

飛行機酔いは相変わらず続いておりましたが、Day-8を終えたいま、酔いと上手く付き合える方法を習得しつつあります。ですからこのグライダーに乗れない二日間が非常にもどかしいです。早くグライダーに乗りたい！それに地上練習できる二年生をとてもうらやましく思っております。自分も早く今の二年生に追いつき、追い越したいです。

Kei

1週間一緒に暮らして仲良くなったところで帰ってしまったYuumaとAkiに続いて、昨日まで一緒に暮らしていた仲間がまた一人帰っていきました。



どうやらナロマインについてから昨日まで、このカエルはトイレの貯水槽に住んでいたみたいです。日本じゃありえないハプニングでした。

他には昨日と今日はナロマインの町に出かけました。こちらの町の人は目が合と、外国人の僕らにも挨拶してくれます。単純なコミュニケーションだけど嬉しいです。フライトのほうエアワークが一通り終わりました。次に自分が何をすればいいのかわからなくて手探りの状態ですが、ちょっとずつですが目標に向かってます。フライトすると毎回新しい発見があって楽しいです。

9月15日

昨日夕、ナロマイン入りしました赤堀です。

理科東工埼玉のDay9、NAOKIさんは本日4時過ぎまで参加されハンガーMTGのあとシドニーに向けて車で移動されました。SHINZOさん、MAKIさん、NAOKIさんに加えKEIさんの指導を受けて今回参加の5名は生活面も含めてたくましく育っているのが印象に残りました。今日は、理科東工3名その他、インストラクター練習中のKEN(同志社卒)のコメントもお送りさせていただきます。



理科大航空部2年のKengoです。初ソコを目指すため普通のフライトのみならず、フライト後に庭で声を出したり、目標点に向かって指を指したり等、少しでも空いた時間を有効に使うようにしています。自分自身がただ受け身になって行動するのではなく、何でも自己主張しながら行動することが「一人前のパイロット」への近道になると思います。これからの一週間さらなるモチベーションを上げていき、初ソコに辿りつきたいです。

理科大一年のshinです。今日からはDay1からお世話になっていたNaokiさんが外れ、Naotoさんが加わりました。個人的にNaokiさんとはこのナロマインで二回のフライトでお世話になりましたが、フライトだけではなく普段の生活面でも大変お世話になりました。Naokiさんとのフライト後の励ましが強く印象に残っております。ありがとうございました、そして帰国後の関宿合宿でもお世話になると思いますので今後も宜しくお願いします。なぜかすごくかたい文章になってしまいましたね・・・ゴメンナサイ。

理科大3年Keitです。

今日はオーストラリアの凄さを感じました。写真にもあるように格納庫のそばに特大の野生のウサギが(死んで)いました。



とても大きく、日本とは違うなと思いました。そして、フライトの方では、コンプリートストールをしました。コンプリートストールは初めてで、体まで浮いたので恐怖を感じたとともに、ジェットコースターみたいで楽しかったです。ただ、高度がかなり下がったのも確認したので、これが低空で起きてしまったらと思うと、ストールを低空で起こさせ

ることの危険性を、身を持って理解しました。バベッティング、音、ピッチでこのストールを起こさないようにする、フライトをしたいと思います。

Kenです。

今日、私は後席でKeiとYukiと一緒に飛びソアリングをしました。離着陸とコアを見つけるなどの操作は私がやりましたが、コアに入ってからほぼ二人に操作してもらい、徐々に上手くなっていく様を見ました。飛行最初はピッチなどが動きましたが、やっているうちに上手くなる。それを見ていると楽しかったです。ありがとうございます。自分自身としては至らないところが多いので地上でのイメトレなどをもっとやっていきます

9月16日

DAY10:今晚は、Naotoです。

本日は1日雨となり、夕方一時夕焼けも見えましたがその後雷雨と変化の激しい天気でした。実際のフライトはありませんが、インストラクターMTGでは、インストラクターは教えるのが仕事ではない。如何に学生に多くを気付かせるか。インストラクター自身が率先して行動し学生に見本を見せることの大切さを改めて指摘されました。

午前中は全体ブリーフィング、午後はフリータイムにしましたが、私は前日オブザーバーでまだこちらでフライトをしていないため、室内でサーキットトレーニングのイメージをShinzoさんから伝授され、Kenと一緒にイメージフライトを繰り返し明日に備えました。明日も天候に不安はありますが、合宿後半を迎え、みんなやる気十分で臨んでいます。

東工大二年Hawkです。

本日は数日前からの予報通りrainy dayでした。よってhanger openはしませんでした。しかし、flightはしました。ATの地上練習、thermalのbriefing等、take offからlandingまでがflightではないという考えの下、今日もgliderな一日を過ごせました。起きたときは飛ぶ気でいたので少し残念でしたが、この残念な気持ちを明日のflightに生かして、いいものにします

9月17日

同志社OBで今回の遠征でインストラクターを学んでいる、Kenです。



本日は、Lowクラウドで全員がサーキットの練習をしました。時々雨で、オペレーションを一時中断などがありました。予定通りシニアチームだいたい3回ずつ、ジュニアチーム2回ずつ飛びました。私としては、初めて一日ずっとインストラクターと一緒に飛びました。今日はサーキットのコース取りなどの練習をしていて、地上練習の大切さを実感できました。昨日までの地上練習が完璧に活かされたかという、まだまだだと思えます。地上でもっと練習をします。

理科大三年KEITです。

今日は雨が降ったり止んだりして、とても難しいオペレーションでしたが、みんなの行動がきびきびできたので、14フライトもできました。私も本日3発飛んで、サーキット練習が十分にできました。今日はシンゾウさんに褒められるほどATが上手くでき、今日のイメージを定着させるために地上練習もしっかりやろうと思えます。

9月18日

こんにちは、同志社OBでインストラクターの卵、Kenです。
 今日には予報では昼からCuコンディションで6000feetでした。しかし少し積雲ができた
 ほどで、ブルーな時が多かったです。
 お昼ご飯前まではシニアグループのフライトでした。ATは少し荒れていたようですが、
 地上練習の成果が活かされたそうです。
 理科大2年(航空部1年目)のKeiです。
 今日は僕の21才の誕生日でした。シャンパンで乾杯した後、みんなが寄せ書き
 してくれました。フライトの方はサーキット練習のイメージフライトも始めました。ソロに
 出れるように頑張ります。



理科大一年のSHINです。今日はKEIの誕生日でした
 ね、とてもおめでたいです。シャンパン飲んだら軽く
 酔いました。地上でも酔いやすいんです僕は。
 さて今日のフライトはあまり長く飛ばせませんでした
 が明日に繋がる大切なフライトだったと思います。機体
 を大切に今後フライトも大切にしていきたいで
 す。
 埼玉大一年のYukiです。上2人と同じになりますが
 今日はKeiの誕生日でした。まあ、自分は未成年だ
 からシャンパンは飲めませんでした。みんながKei
 のTシャツに寄せ書きしていました。書かれた内容に
 ちょっと不適切な内容がありましたが、プレゼントとし
 てはとても良いものだと思います。フライトは最近
 あまり長い時間飛べてい
 ませんが楽しいとは思っています。
 P.S. Keiおめでとうございませぬ by Ken

9月19日

Kenです。
 今日にはシニア組はサーキットの完成をめざし、ジュニア組はストールや急旋回の練習をしま
 した。私はその後席で飛ばさせてもらいました。シニア組のフライトは少し手を出しまし
 た。その少し以外はシニアたちが飛ばせていて、感動しました。ジュニア組は午後からフラ
 イトし、3人とも30分以上飛び、タスクをやりました。45°急旋回が思ったより深いと言
 うことを実感したようです。
 私の問題点として、フライト中に怒ったように言ってるということと言われ、反省しまし
 た。昔から言われていることなのですが、これを直すのが課題です。
 Kengoです。
 ナロマイン合宿もいよいよ終わりに近づいてきました。今日は昨日に引き続き、初ソロに向
 けてサーキットをしました。昨日と比べて、ダウンウインドポイントや旋回点を明確に決め
 ておくことや、旋回点の手前で風やサーマルがあるかもしれないので余裕を持ったフライト計
 画を立てよう、といった所ができたと思いました。こうしたことを維持し、ソロに出て帰国
 したいです。
 Naotoです。
 インストラクターをしながらレベルアップに繋がる以下のようなincomeを得ています。
 ?どうすれば練習生が個々のタスクを達成できるか。その人の目線、考え方、悩みを想像し
 て一緒に解決策を考える。
 ?練習生個々の希望、タスクを達成できるよう有効なプログラム、タイムスケジュールを状況
 に応じて設定する。

アシスタントインストラクターを勉強中のKenです。
未熟どころか生卵な所からのインストラクターとして今回の運営に参加しました。分からないところが多く、悩んだり怒ったり、楽しかったり感動したり、いろんな経験をしました。安全に運営するために朝早く夜遅くまでMTGをして、昼間も目を光らせているShinzoさんの心身の強さには驚かされました。今回のトレーニングの開始前に体力が無いとできないぞと言われた意味を体感しました。
また、平等に、学年や年齢など関係なく接することの大切さや必要性などを感じました。私としても、今回の体験で受け取った物が多く、学生一人一人、インストラクターの方々に感謝しています。皆さんから力を引き出されて、私も成長できたのだと思います。今後はもっと相手の気持ちの奥を汲み取れるような会話ができるようなインストラクターになります。
参加された皆様、おつかれさまでした。またいつか一緒に飛びましょう。

2013, 11, 2 **新しいディスカウント・ルール発表！**

Instructor 引率のグループは一定の条件を満たした場合、Booking Feeを50%割引します。さまざまなケースがありますので、詳細はお問い合わせ下さい

2013, 10, 25 **2013 WinterSessionレポート 一部掲載!**

先月ナロマインで開催された恒例のWintersession (夏休み特別企画)で、期間中に寄せられたレポートをまとめて前半部分を掲載します。(私が個人的に忙しく、しばらくHPの更新ができていませんでした。すみません)

今年の参加は、9月1日~12日 九州工業大学(2名)9月7日~22日、東工大・理科大(6名)の皆さんでした。ご覧下さい。

9月3日



本日9月3日で活動3日目が無事終了致しました。現在、九工大の学生2名(草場君, 小松君)が訓練中ですが、お二人とも元気にフライト実施です。本日は条件も良く、各自1時間の滞空フライトも実施出来ています。



今週末からは東工大・理科大合同チームも加わり、にぎやかなナロマインとなる予定です。



9月4日

NPO九州グライダースポーツ連盟 牧田です。Day 4 レポートを送付させていただきます。
本日も天候良く、九工大(草場君, 小松君)各1時間以上の滞空により、充実したトレーニングが実施出来ています。



今回は本人にコメントを記入して貰いました。

Yuma: はい、草場悠真です。こちらの生活にも慣れてきましたね。Narromineは地平線が真っ直ぐ見えるので、グライダーの練習には本当に最適だと実感していますね。。。連日1時間ほど飛んでるので、日々得たものと翌日の目標の設定、それに合わせて練習、と充実しています。ソロに出られるよう日々精進致しますので、応援よろしく願います。

Aki: 小松昭文です。こちらに来てから、普段の合宿とは、全然違うながらもだんだんと生活には慣れてきました。



フライトについてですが、一時間以上の滞空など日本では考えられない体験がさせてもらってます。本日は、3000ftぐらいから4500ftまで自分の力で上がる事ができました。しかし、まだまだピッチがずれたり、バンクが深くなりすぎたりと、克服すべき課題もたくさんあります。壁は多いですが、前向きに一つずつクリアしていきたいと思えます。



牧田です。写真は撤収時のハンガーでのShinzoさん(滝沢さん)とのブリーフィング風景となります。

9月5日

NPO九州グライダースポーツ連盟 牧田です。
Day 5 レポートを送付させていただきます。



ソアナロメインではHangar Open から Hangar Close までが、実際にフライトするためグライダーオペレーションの活動時間となります。しかし、各自のグライダートレーニングは朝のBriefing 開始 から夜の消灯までがグライダートレーニングとなります。今回はそのトレーニングの一つ、イメージフライトをする様子をレポートします。写真は庭にロープで作った場周コースでのイメージトレーニングフライトです。



Yuma:

はい、草場悠真です。グライダーで飛ぶ事が日々楽しくなってきました。幸せであります(笑)Day5では朝のブリーフィングから外に出て場周経路のイメトレを実施しました。小松は踊ってました(笑)。あのイメトレ5回で1回のフライトの価値があるそうです。合宿が少なくモヤモヤしている方々も、イメトレを頑張っておのライバルこの友達と差をつけましょう！！
本日のフライトでは計1時間6分、Narrominelに来てからは4時間25分ほどの飛行時間となっております。その分、旋回が安定してきたり、直線滑空の修正が上手くなりつつあったりです。明日はATを少しずつやってみたり、場周経路を自分で決めたり、との予定です。明日は自分が食事当番なので早起きに備えて寝ます。おやすみなさい。



Aki: 小松昭文です。本日は食当で朝から昼食と朝食の準備をしました。朝食後ブリーフィングの後、庭で場周の練習（注意、写真はダンスではありません）13時から実際のフライト開始、手足が初日と比べて柔らかく動くようになってきたの感じてます。場周の目標のセットはまだまだ修正が必要そうです。Yumaのフライトが始まってすぐにハンガーオープンへ、このとき、ハンガーまでダッシュ、このとき二点をとってその上の直線を走るようにしてました。地上でもフライトする事を常に意識、飯をShinzo宅に運ぶ時もフライトを意識、直線滑空をイメージとにかく、どこでもフライトをすることを心がけます。

9月6日



本日夕方、東工大・理科大チーム(6名)が無事 NARROMINE 到着です。明日より、学生8名、複座2機体制でのフライトトレーニングとなります。本日、Day6 のレポートは以上とさせていただきます。牧田@Soar Narromine

9月7日



昨日到着の6名を含め、学生8名、複座2機(ASK21, Duo Discus)によるトレーニングを開始しました。今日は、ナロマイン地形慣熟実施でした。明日より、本格的トレーニングとなります。



9月8日

Day8: ソアーナロマイン学生遠征合宿 レポートを送付します。



東工大グライダー部二年、Hawk(靱井隆宏)です。
 今日はナロマインに来て三日目、フライトは二日目でした。昨日は初めてのオーストラリアの環境の素晴らしさ(地平線、畑の大きさ、etc)を感じ、今日は初めてのDuoに乗り、いつものASK21とは違った機体を楽しめました。生活に関してはなかなか忙しい日々ですが、奥の深いブリーフィング、九工大のAki, Yuma二人との会話など充実しています。自分のまとめ役の役目をやりつつ、自分のNarromine lifeをまだまだ楽しみたいと思います。

理科大航空部二年、keit(若口 明人)です。

ナロマインに9月6日に到着して、本日でDay2目のフライトでした。オーストラリアの広大な自然を楽しみ、普段会えない方々との交流を深め、ナロマインを楽しんでいます。本日は初めてDuoでのフライトを行い、普段使用しているASKとの機体の違いを体験できました。明日も楽しくフライトしていきたいと思います。

理科大航空部二年、Kengo(三ツ目健吾)です。

初めてナロマインに来て三日目を迎えました。地平線の素晴らしさ、さまざまな形をした畑等を見て飛ぶため、普段日本で行っている合宿とはまた別の雰囲気を感じています。いつもはASK21やASK13に搭乗していましたが、今日は初めてDuoに搭乗できたので良かったです。この合宿では一日中グライダーのことに触れるため、一日一日を無駄せず大切にしていきたいと思います。



9月9日

Day-9 & Day-3 のレポートをします。今回初めて登場する、岩楯です。
 先ず、本日までの経過報告をさせていただきます。



今回、2人が9/1より、6人が9/7より、Narromineでのグライダー生活を始めております。9/1からの2人は、1年生、9/7からは、2年生が3人、1年生が3人での参加となっております。

私は、9/7夕刻からの参加です。

一人前のパイロットとは何かを、一つ一つ学んでいます。

9/7は最初の二人(Yuma、Aki)のDay-7ですが、既に、大きく成長しており、あとから到着した6人の、大変良い先輩となり、Leadershipを発揮できています。YumaとAkiは、Day-8からは、朝の準備、Runwayの選択、最終ハンガークローズと、自分で物事決めて、行動できるまでになっております。

一方、6人は、Day-1、Day-2と、まるで小学生の子供が、2人のお兄さんに教えてもらっている感じでした。

ところが、Day-2の夕食時ころから、目つきが変わり、Yuma、Akiの色をもらいつつ、自分の色が出始めています。とってまたくましい、日に日に成長が見えます。

一つお恥ずかしい報告ですが、私が後発の6人に事前の的確なアドバイスを出せず、Day-1に6人には混乱をあげてしまいました。

食事のルールも初めてここにきて伝わるようなお粗末でした。

何度も実施してきた遠征が、まったく内容が引き継がれてない状態に、監督としての責任を感じています。



たくましい、6人と、しっかり育ってきた2人のおかげで、大人の失態を、見事に取り返してもらっています。

ここでの、生活面の一つをとっても、グライダーにつながっているということを教えています。Self Managemetを教えて、一人前のパイロットを育てています。

今日は下に、Yuma、Aki、Junior Team(6人の3人の一年生)3人の報告を送ります。

グライダーだけでは無い報告もあるかと思いますが、実はすべてグライダーにつながっていることをご理解の上、皆のたくましい意見をお楽しみください。

Yuma はい、草場です。日々成長を感じたり、悩んだり、考えたり、怒られたりと生活面・フライト面でかなり充実した日々を過ごしています。実は昨日・今日とAT・サーキット・接地の練習をしておりますが、こういう経路で必ず行く、というディジタルでは考えることができず、この場合はここでターンして、とアナログに考えなければなりません。そのため、100点を取ろうと思うな、というアドバイスを頂くこともありました。難しいものです(笑)。今さっきダミーブレイクの打ち合わせがありました。その時、ソロが近くなってきたんじゃない?というようなことを聞きましたが、自分は何が足りてないのかを考えたり、ソロを焦ってDay1から教わってきたことが見えなくなってきたのでは?とブリーフィング時にメモを取ったノートを見返しています。

生活面においては、以前よりも責任という事を考えられるようになってきたと、自分では感じています。グライダーのことだけではなく、人間として成長できたことを考えると、この遠征は想像以上の収穫がある、と感謝と喜びがあります。合宿期間は残り少なくなってきましたが、最後まで成長し続けたいと思います。それでは。

Aki 小松です、今日は朝からShinzoさんに、ウェザーも見ない奴がソロなんかに出れるかと言われ、Yumaとウェザーを見るために表に出たりと出だしは、がたがたした日でした。

そんな出だしでしたが、本日、自分がランウェイの選択をして自分はランウェイ36を選択しました。この選択は正しく、自分は吹き流しが読めたと実感しました。また、今日自分は、靴を脱いで操縦したのですが、このおかげで、ラダーの感覚がよくわかり、鈍かった足がよく動いてくれました。手の握り方も人差し指を立てることで力を入れずに操縦桿を握ることができました。

そうしたおかげか、昨日よりも自分で操縦してるという実感がわきました。まだまだ、改善すべき点がありますが、日々成長できてると思っています。

Shin 理科大1年理工学部の岩井慎(イワイシン)です。ナロメインに来るまでのフライト回数は3回で、ほとんど経験のないうちのからの参加となりましたが、小さい頃の夢はパイロットになることだったので今回の遠征に参加できてとても嬉しいです。ただよく飛行機酔いをしてしまうのでそこは相棒・コーラと共に困難を乗り越えている最中です。コーラはうまい!! Day2では離陸から着陸まで常にハッピーな状態でいけて今までで一番楽しいフライトでした。仲間との共同生活も非常に充実しております。ただ、早速日本の食事が恋しくなっております。米とラーメンが食べたい!!

Kei 理科大2年基礎工学部の西田慧(ニシダケイ)です。今年から航空部に入部して、初めてナロメイン遠征に参加しました。信三さんはどんなに怖い人なのだろうかという不安を持ちながら日本を出発しました。ナロメインに到着し、Day1に「小食です。」と伝えたら次の日から「虚弱児童か!」と言われ、Day2では「お前は鳥の目をしていい。いいパイロットになれるかもしれないよ」と言われました。Day3で夕食を少し早目に完食すると「ちゃんと食べれるじゃないか。食も太くなったし、顔つきも変わったよ。お前は鳥の目をしてるし、食も太くなった。最終日までにはガチョウになれるかもしれないな!ハハハ!」と冗談を言われました。信三さんは想像していたよりも面白くて、褒めるところは褒める、怒るところは怒るで理由があつてとても合理的な考え方をする人なんだなあという印象が変わりました。最後には信三さんに「立派になったなあ」と言われるような鳥になって帰りたいと思います。

Yuki 埼玉大1年情報システム工学科の赤堀優毅(アカホリユウキ)です。航空部には所属してなくて親の勧めによってナロメイン遠征に参加しました。最初はグライダーにはあまり興味がなく、海外の環境でいろいろ学ぶということを目的としてやってきました。

Day1の時は何をやったらいいか全然わからなくて戸惑っていましたが、色々な仕事を経てその仕事ができるようになると自信が付き始めました。この遠征に来る前に信三さんのことに関していろいろ聞いてきましたが、ここにきて物事をはっきり言う人だと思いました。怒るときは怒る、ほめるときはほめるという区別がはっきりしています。

信三さんのことについて一番驚いたことと言えば、パンツを4回履くということです。これまで洗濯は毎日すると思ってきましたが、その逆の考え方の人もいるのだと実感しました。そして、オーストラリアの下水道管は日本より細いからあまり多くトイレトペーパーを流さないでウォシュレットを使いなさいと指摘されました。長々と書いてきましたが、そういった点で日本と違うのだと実感しました。

2013, 8, 3 2013 イベントカレンダー!

9月1日～22日 Winter Session

10月14日～25日 National Championship in Kingaroy Nimbus4DM

copilot booked

11月16日～23日 NSW State Championship in Lake Keepit Nimbus4DM

copilot booked

11月28日～12月6日 20M National Championship in Narromine Duo Discus

12月7日～14日 Junior National Championship in Narromine Duo Discus Coaching

2014年3月第2週頃 Narenkai maji (未定)

3月16日～22日 National Team Camp in Kentucky Nimbus4DM

3月最終週 Open class GrandPrix in Lake Keepit Nimbus4DM

2013, 7, 30 Shinzo in Japan !

ちょっとニュースが遅くなりましたが、Shinzoは例年通り4月～5月日本に滞在。
精力的に各地を飛び回りました。恐るべし60代！



日光上空14000feet。
遠くに日本アルプスを望む。



久住高原。

2013, 4, 3 Narrenkai Report 2013 !

昨年に引き続き第2回NARENKAIマジ編がShinzoさんのサポートのもと3月10日から18日まで開催されました。参加者はNob(こと堀崎)、Kadz(こと半田)、Hiro(こと市川博)でした。充実した非日常の時間を過ごし先日帰国しました。
[総括編](#)をPDFとしてまとめましたので、左記(総括編)をクリックしてご覧ください。

2013, 3, 12 ゴーリーReport !

ナロマインのご常連。ゴーリーさんがレポートを送ってくれました。写真も最高！ありがとうございます。



こんにちは、信三さん、ゴーリーです。
 ありがとうございました。天候には恵まれませんでした、本当に充実したナロマインでした。山ちゃんやダーリンにも大きなものが伝わったと思います。そしてしっかりとサーマルドラッグは打ち込まれたものと思います。

國澤さんとご一緒出来たことも本当に良かったと思います。國澤さんありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

私にとっては、本当に大切な時間でもありました。教官と言う資格の重さ、深さも痛感しました。そして何より、学生たち、山ちゃん、ダーリンに伝えていかななくてはならないものがはっきりしました。13年前ナロマインにお邪魔した時に受け取ったものをすっかり忘れてしまっていました。

線路の上を飛ぶことと、基本を忠実に実行していくことの違いを再確認しました。

偉そうに線路の上さえ飛べない癖につか？

その代わりどんな状態からでも帳尻は合わせますって！！とこの帳尻合わせがよくないんですね！！基本をおざなりにして帳尻合わせがいくらできても、グッドパイロットにはなれないし、いつか帳尻合わせが出来ない瞬間に出くわしてしまうのだということ、そしてサーマルドラッグを本当にうまく使いこなすことは出来ないんだということを感じました。

本日、スーパーディモナにダーリンと乗りました。奈良上空で、空中操作の反復をしましたが、後半、ブルー(黄砂で視界が悪くブルーとは言えない状態)でしたが、サーマルが随所にあり、エンジンぶん回して、ぶつかったところで、アイドルにして上がろうとしました。2人でコアは右やとか、ここでバンクを戻して、次にハイバンクでとか、さすがに速度が速く、重たい上のでまわりきれないのですが、信三さんなら上がるんだらうなーなんていいながら、遊んでました。やっぱり私は中毒ですし、ダーリンもはや半病人です。

しっかり、信三さんにサーマルドラッグを打ち込まれた感じです。もうみんな止まりません。

必ずまた行きますのでよろしくお願いいたします。

2013, 2, 1 Australian National Report !

今回のNationalにクルーとしてKen(同志社OB)が同行してくれました。 競技を学びたいとのTaskで来たのですが、それ以上にロートルパイロットを 補佐し、毎日自分の責任テリトリーを広げてくれました。収穫多しとの感想だったので、「それをHPで皆に分けたら」とお願いしたら、以下のようなレポートを寄せてくれましたので紹介します。Shinzo

です。

今回、月 日から 月 日まで さんの第 回豪州選手権にクルーとして参加させていただきましたので、これについて書かせていただきます。



月にクルーに誘われ、年末休暇にちょうど良いので、一緒させてもらうことにしました。日本での学生選手権しか出たことしかなく、ぜひ本物を見てみたかったのが大きな理由でした。

参加して、まず 機もの多くのグライダーがラインナップしているのを見て、感激しました。いろいろな種類のグライダーがいて、特にオープンクラスの美しさはたまらないです。また、日本学生選手権では水バラストを積まないの、翼に水を入れることも翼がしなるのも放しながらか着陸するのもすべてが新鮮でした。

また、グライダーを趣味としている人に多く会えたのも素晴らしい点です。大学でしか飛ばないのではなく、それ以前以降も、ずっと飛んでいる人がいます。お互いに助け合ったり、分からないことは教えてもらったり、機体をバラストの手伝いあったり、、素晴らしい人たちです。

また、クルーとして参加したことより、

さんがタスクから何を考えているか、どのように飛んだかなどを教えていただき、学ぶことができました。常にそばにいて、何をしているかを見られるのはクルーでしか学べません。

あと、料理もなんとか作れるようになりました。これは大きな進歩といっても過言ではありません。大事です。

最終日には、二位という成績で終わられ、表彰と一緒に前に立つことができました。接戦で最終日が近付くとどうなるのかハラハラしました。一緒に飛べなかったのが残念ですが、この二週間は学ぶことが多い時間でした。そのような時間を与えてくださった さんに感謝します。

またナロマインへ行きますので、その時はまたご教授ください。

2013, 1, 4 **あけましておめでとうございます from Narromine !**



あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いたします。
皆 元気に飛んでいます。
今週は気温37度～40度、8,000～10,000feet、若者は疲れ知らず。
10日で40時間、5時間 / 50km / 300kmと、飛ぶ・食う・寝るの毎日です。

Shinzo

第2回 NARENKAI マジ編(2013.3.10-3.18)レポート

昨年に続き第2回 NARENKAI マジ編が開催されました。開催の概要は、以下の通りです。

名称 : NARENKAI Spring Session (俗称:マジ編)

期間 : 2013年 3月 7日~19日(基本日程)

場所 : Soar Narromine <http://www.soarnarromine.com.au/index.htm>

フライトトレーニング, ブラッシュアップ, 久しくソロに出ていない人, またクロスカントリーフライトをエンジョイしてみたいという方に来て頂き、ちょっとマジに飛びましようと言う企画です。勿論、夜はフライトの話, 昔話, よもやま話で盛り上がりました。今年の参加は、昨年に引き続き、Nob、Hiroと40年ぶりのフライトとなるKadzの3名でした。

今年の参加者

Nob こと堀崎修宏:3月10日-3月18日 目標:昨年同様シルバーがシルバーを目指す

Kadz こと半田和典:3月11日-3月18日 目標:40年ぶりのソロ、サーマルフライト

Hiro こと市川 博:3月12日-3月18日 目標:クロスカントリーの体験



左から Hiroshi、Kadz、Keith、Nob、Shinzo

3月10-13日 連日晴れ

DuoDiscus で1時間から2時間のトレーニング

3月14日 晴れ (cumulus)、Runway22

Nobさんナロマイン5日目、Kadzさん4日目 DuoDiscus でトレーニング、Hiroは3日目 初Discus 最高高度は7100ft、2時間46分のフライト



3月15日 晴れ (cumulus)、Runway22

Nobさん今日から AstirIII で初ソアリング、Kadzさん DuoDiscus で着陸の最終チェック、Hiroは、Discus で3時間のフライト



3月16日 晴れ (cumulus 後 Blue) 、Runway29, 22

Kadz さん初 AstirIII 単座、Nob さん AstirIII サーマル練習、Hiro は Discus で 3 時間 26 分のフライト



3月17日 晴れ (Blue) 、Runway18

Kadz さん AstirIII で初ソアリング、Nob さん No Fright、Hiro は Discus で 3 時間 48 分のフライト

3月18日 晴れ (Blue)、Runway11

Nob さん、Kadz さん AstirIII でソアリング、Hiro は Discus でソアリング、1600 に DUBO へ出発



Washlet Project

牧田さんのご指導を得て Shinzo ゲストハウスに Washlet が付きましたことをご報告いたします。「ぢぬし」さんもそうでない方も快適なナロマインへどうぞ。

自称 Project Leader Nob



Nob さんが日本からハンドキャリーした Washlet

Nob Report

Nob こと堀崎修宏（東京工大 61 年入部）です。

昨年 3 月のナレンカイマジ編に続き参加です。今回は 70 歳の単座ソアリングをめざします。年齢のハンディキャップを考えて Hiro さん、Kadz さんより一足先に 10 日ナロメイン到着しました。実はこの一年なんとなくノーフライトになってしまいましたので、その修復を意図してのことでもあります。

そうしたものの、私の性格に起因していることが大いにあるのですが、「リラックス」「自機の位置を認識する」「次の行き先を考える」そして「このフライトのタスクは何か」、なかなか十分な状態にならず一日一日と日が進んでしまいました。

3 月 15 日 1345-1450 5000ft

そして 15 日よいよ単座ソロソアリングを迎えることができました。タスクとしては 1 時間フライト。

一発目はサーマルを捕まえることができずあっという間に着陸。

二発目は Shinzo さんから一言をいただき、そうだった昨年もやったんだということで、曳航 3000ft をリクエスト。こういうことも自分のタスクを実現するためのオプションなんだ、そしてこれを自らオプションとして決定しなければならないんだと。（これが歳なのか自分の自意識のなさなのか？）

上がったサーマルセンタリングはあせらずにグッドエアの方にそろそろと近づく感じで旋回。それが功を奏したかどうかですが 5000ft まで上がれました。

今日のタスクは 1 時間の間に周辺をじっくり見て地形を把握すること。数回サーマルに入ったり出たりしましたがその間は周辺をじっくり観察。把握。

その間のリラックス方は区切りで水をガブガブ。昨年は水を飲む時ガムと一緒に飲んでしまいましたが、今回はそういうことなし。これは進歩かな。

タスク 1 時間フライトとしましたので、ころあいにサーマリングは終了、リラックスしながらダウンウィンドに入りました。

Shinzo さん、励ましをありがとう。

両 OB 会皆さん、あなたでもできますよ。昨年日記に書きましたが、私は学生時代は H22 だけ。単座機で飛んだことはない人間です。

それでは、また明日。

3 月 16 日

毎日ハッピーなことが続くわけではありません。今日はヒヤリハットの体験。今後のフライト役立てなければなりません。CHAOTIC のすべてが大事ですが、その中でも「0」は重要かつ判断と実行を求められるチェックであることを痛感しました。（当たり前のことですけど）RW29 で離陸し、RW22 で着陸（ロング）という運用をしていました。RW22 の中間どころに着陸したので、そのまま離陸しようということで、私の判断は「右からの横風」と認識はしていました。しかし、それに対する私のアクションが甘かった。離陸滑走を開始後、速度がつきすぎたようです。そして左翼が大きく傾き接地しそうになりました。まあなんとか回復できました。連日 RW の使い方は同じでしたの

で、着陸の判断と同じくらいに判断したのは確か でしょう。加えて昨日までの風は弱かったのですが、今日から少し強い風になっていました。 ということです、判断したことがアクションとなっていることは多いのではない でしょうか。結果として役立つ体験となりましたが、さらに安全フライトを心がけます。 ということです、引き続くフライトの内容は推して知るべし。

3月17日

今日の風は南風、方向はほぼ一定、しかし強さがどんどん強くなりました。15-16kt? それ以上、上空は20kt以上? カズさんの着陸後、フライトは中止と決めました。初心者の私にとって害があっても益はないでしょう。 ということですゆっくり休みました。本当は中日くらいに休憩すべきであったか。 明日は最終日、いいコンディションを期待しましょう。伊藤さん、岩館さん、萩原さん、赤堀さん Reply を有難うございます。 一緒にできる日を待っています。

3月18日

最終フライトは、周囲の状況把握とリラックスした操縦になりました。というより、終わりをよいフライトにし、次の機会によいものをもって進もうというつもりでフライトをしました。サーマルこそつかみませんでした、落ち着いてフライトができました。この感じを次に持っていきたいと思います。

まとめ

前回の目標は、単座ソロ、今回の目標は単座ソアリングでした。今回はソロで4フライト。感度が悪くサーマルに入るのに苦労しました。4フライトのうち、ひとつは1時間ほどのフライトをすることができました。これまでの経験からは上出来でしょう。と、前向きに次に向けてシルバーを光らせて生きたいと思います。皆さんも参加しませんか。

Kadz Report

Kadz こと半田和典（東工大 67 年入部）です：

ナレンカイに参加でき、ブルーに積雲、夜は満点の星々を満喫しています。

マジに 1973 以来 40 年ぶりのフライト、それが DuoDiscus しかも信三さんのご指導でソアリングを大いに楽しんでいます。

Nob さんのさそいににのって、わたしにもできますにちかづいていると信じています。

3 月 15 日 1357-1533 6000ft

せっかくの“Duo”によるフライトトレーニングを大切にしたいところです。

今日は空港とまわりの地形や目標物の観察にゆっくりと時間をつかいました。離陸と着陸はなかなか思い通りにいかず苦しいところです。

3 月 16 日

DuoDiscus と AstirⅢで離着陸練習をさせてもらいました。ということは Astir でファーストソロです。思えば 73 年 7 月以来たしかに 40 年ぶりの単座機でありソロということになります。環境といい、Shinzo さんからもらう元気といいサイコーです。今日のところはソロ云々よりもこの 5 日間に Duo で 9 時間近く飛べたこと得たことの感慨が強いですが、あと 2 日間でのソアリングを楽しみにしています。

3 月 17 日 1236-1310 4500ft

今までよりも風が強かったとはいえ離着陸はまだまだ練習しなくては—。曲がりなりにもソアリング。5000ft まではと頑張ったが(方角が悪いとの指導)とどかず場周に。風にあわせてしっかり+10kt でファイナルアプローチ。いい地点に landing できそうとニヤリ—しかししかし—超々ロング。実は Airbreak でなく Trim を引いていた。落ちないことにしばし頭がしろく なってしまい気づくのたいていへん時間を要したもの。なぜ Trim に手がいった？ なぜすぐにきづかなかった？ いろいろの原因、伏線はあると思われる；上の“ニヤリ”で安心してしまったのか。思慮のない操作であった。いつも左手はファイナルを終えるまで膝のうえ。今回レバーは手さぐりで操作。CHAOTIC のフライト前確認時に実際の飛行を想定したものでなければならぬ； “A”でレバーをにらみつけてその動きの確認とロック確認になりがち。機体により場所もストロークも異なるから単純に体で覚えるのではなく。Duo では力をいれても全開とならずききが悪い印象をもっていた。Astir のレバーは手がとどかずイヤな印象をもっていた。等々ありますが基本確認とイメージトレーニングにも反映させ留意したい。長期のブランクとか加齢を一因にされないように。

3 月 18 日 1337-1416 6000ft

課題の自己評価 離陸：△ 着陸接地：○

ソアリング、特に今日は強いプラスとそこからはじき出されたときの厳しいマイナスとを何度か繰り返す。これも Shinzo さんのおっしゃる三次元把握の一つ、これらを絵に描いてイメージを重ねる糧の経験と受け止めています。

まとめ

8日間がアットいうまに終わり、日常からはなれてこんなに楽しめるとは思っていなかった。 Shinzoさん Nobさん Hiroさんに感謝です。

また面識はないが理科大OBの方々からの激励もありがとうございました。フライトでは、飛行時間10時間以上をたんのう。最初の3日ほどのタダ単に乗せられている状況から、体や頭に覚えているらしい感覚の一方で過去は忘れて現状にそったモダンを教わり習得しつつ自分で飛べる方向に近づいたと思います。さらに自己と全体把握や計画等々で安全にソアリングの方向に期待がふくらみます。

最終日ころには肉体的にややツカレを感じていましたが、すばらしい環境に恵まれ日に日に心身ともに健康になっていく自分を実感していました。

体力/視力, 気力等まだいけそう。準備すべきものもわかってきた気がするので次回を楽しみにしています。

Hiroshi Report

Hiro (理科大 75 年入部) は昨年に続き 2 年連続での NARENKA13 月バージョンの参加です。昨年は、20 年ぶりのフライトで、AstirIII 単座にてソアリング 2 時間 30 分で大満足のナロマイン滞在でした。今年の目標はクロスカントリーの入口に立つことです。結局昨年はナロマイン以降、秋の OB 会で 30 分ほど飛んだだけです。

1 日目、2 日目は贅沢にも DuoDiscus でトレーニング。Shinzo さんと一緒だとあっという間に 7000ft、50km 先まで簡単に行けてしまい、クロスカントリーなんて簡単に思えてしまう。

3 月 14 日

本日 3 日目は Shinzo さんから Discus でいってらっしゃいと言われ、憧れのスタンダードクラスの機体に、嬉しさ半分、不安半分でした。昔は、高性能機は難しいというイメージでしたが、Shinzo さんから最近の機体は乗りやすさも十分考慮されていると説明を受け、フライトでその通りだと実感しました。

結果は、20Km 三角、最高高度は 7100 f t、2 時間 46 分のフライトでした。とても操縦しやすい機体で、どこまでも飛んでいきたいと思わせるものでした。場周のイメージがいまだにつかめず、今回もスクエアを描けずに着陸し悔いが残るものでしたが、飛ぶことの楽しさが実感できるフライトでした。

明日は、Nob さんが AstirIII 単座でソアリングにトライ、40 年ぶりのフライトである Kadz さんも 2 日後には単座でフライトとなる予定です (Shizo さんが明後日は全員単座で、僕はフライトしなくていいねと言っていました)。

3 月 15 日 1325-1625 7100ft

昨日に続き、Discus で出発、Shinzo さんから 5 時間をやってきなさいと言われるも、昨日のビールが残っており (昨夜ちょっとした出来事があり、ビールを普段の 2 倍以上飲むことに) きついで明日に延期することに。ちょうど 3 時間のフライトで、北西 35Km の Trangie、南 10Km の Narwonah まで行ってきました。Discus は、いつまでも飛ぶ気になれば飛んでいられるように感じる機体です。Shizo さんに、早く帰ってきたねと言われ、まだまだ飛べましたが、今日のフライトはこれで十分、おなか一杯ですと答えると、なんて贅沢なことを、これを聞いたら日本から水をかけられるよと言われてしまいました。着陸は今一つでしたが、ますます Discus で飛ぶことが楽しくなりました。明日は 5 時間を目標にマジ編らしく、ビールを一杯に制限され、今日のフライトよりきついタスクでした。

3 月 16 日 1349-1715 7500ft

本日のタスクは 5 時間、Shizo さんに 12:30 にテイクオフねと言われるも、昼ご飯食べてないので後に回してと、最初からタスク放棄。結局、途中から Blue となりあまり遠くに行けず南 30km の Wyanga、北西 Trangie 手前 30Km まで 3 時間 26 分のフライトで終了。少しずつフライト時間は伸びているも、体力的に限界か? Shino さんに明日は 5

時間ねと言われ、ビール制限のほうが、どんなタスクよりきついと嘆願し保留にしてもらう（今夜は昨日の分までビール+ワインで十分アルコールを摂取）。マジ編についても、NARENKAI の本来の目的？を幹事としては遂行するのみです。

3月17日 1225-1613 6000ft

本日は、1200すぎからサーマルが出そうということで、5時間トライに決定。南風が強く、ランウエイから離れられない。12時台は cumulus があるも、すぐ Blue に。4000～6000ft の間を行き来し、3時間超えたくらいからひょっとして5時間いけるかもと思いだした途端、サーマルが弱くなり、残念ながらタスク未達成で着陸（昨日までは1700でもサーマルがあったのに、途中で降りてきた罰？）。明日は最終日、1500にはフライト終了となる。今回うまくいかない着陸を第一のタスクとしよう。

3月18日 1318-1445 6000ft

今日は最終日、シドニーへタ方の飛行機で移動です。ソアリングはそこそこにして、着陸をきっちり決めよう。結果は、残念ながら低く入り、撃沈。Shinzo さんに、デジタル頭の方は着陸がへたとざっくりと言われてしまう。仕事柄コンピュータはよく使いますが、けっしてデジタル頭ではありません。しかし、言い返す言葉なし。

まとめ

フライト復帰2年目にしてあこがれのスタンダードクラス、Discus でソアリングができたことは大きな成果でした。現役時代はK a-8でソアリングを楽しんでいましたが、全く次元の違う性能でどこまでも飛んでいけそうな気になります、でも操縦は難しくないすばらしい機体でした。また、Nob さん、Kadz さんのフライトを見ていると、私などまだまだ若輩者、これからいくらでも頑張れると思わされます。また、ご一緒できることを楽しみにしています。